

算数科学習指導案

指導者 伊藤 綾香

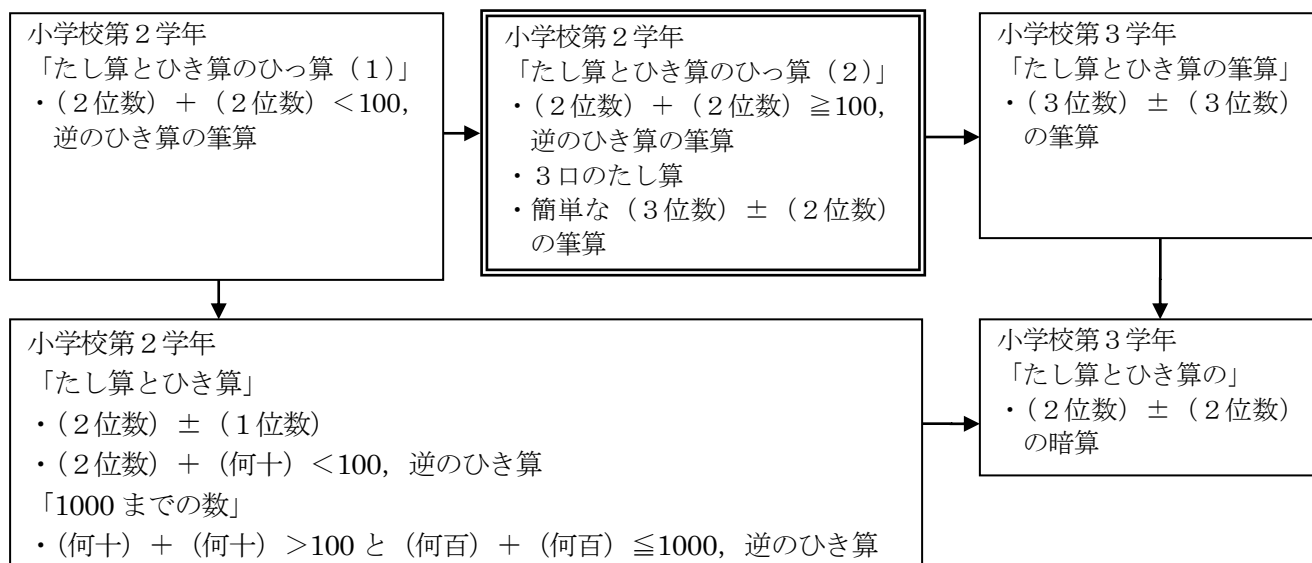
- 1 日時 令和2年9月23日(水) 第5校時
- 2 学年 知的障害特別支援学級 第3学年 女子1名 計1名
- 3 単元名 「たし算とひき算のひっ算(2)」
- 4 単元について

○児童観

〈省略〉

○単元観

- ・2位数の加法及び減法で、繰り上がり、繰り下がりのある計算や簡単な(3位数)±(2位数)の計算ができるようになることをねらいとしている。
- ・繰り上がりと繰り下がり、空位の扱いなど筆算の基本的な計算の仕方を扱う。
- ・この学習を受け、第3学年の学習内容では範囲を3位数、4位数に広げ、加減の筆算を定着させていく。



○指導観

- ・算数用語(一の位・十の位・百の位・繰り上がり・繰り下がり)をカード化して提示し、算数用語を使って説明できるようにする。
- ・既習事項をもとに考えさせ、学習の流れを提示することで、学習の見通しをもって取り組ませる。
- ・計算棒を操作して繰り上がりや繰り下がりの処理の仕方を具体的にとらえさせるようにする。
- ・指を使って計算してもよいこととし、大きい数の計算の際には、計算ノートを使って計算させる。
- ・説明の際には、「まず」「つぎに」「さいごに」と順に説明できるように、ヒントカードを用意しておく。

～育成しようとする資質・能力～

(課題解決)

- ・ 買い物の仕方をマスターし、生活に生かすために品物の代金を計算するという課題意識をもって、2位数の加法及び減法で、繰り上がり、繰り下がりのある計算や簡単な(3位数)±(2位数)の計算ができる。

5 単元の目標

3位数の加減計算について、(3位数)±(2位数)の筆算を考えたり説明したりすることを通して、計算や十進位取り記数法の理解を深め、繰り上がりや繰り下がりのある筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

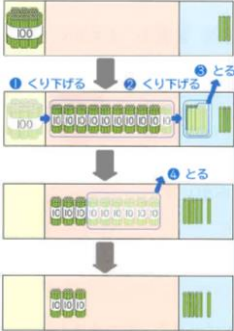
6 指導計画 (全10時間)

次(時)	小単元	学習内容																								
<p>【パフォーマンス課題】 お買い物マスターしよう！</p> <p>300円をもってお買い物に行きます。お店では、家ぞくへのおみやげと自分の好きなものを買ってください。300円までであればいくつ買っていいです。下の中からどれを買いますか。また、そのわけをせつめいしましょう。</p>																										
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マスク 54円</td> <td>イヤリング 78円</td> <td>ネクタイ 97円</td> <td>ハンカチ 36円</td> <td>えだまめ 53円</td> <td>ジュース 72円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トマト 58円</td> <td>ピオーネ 65円</td> <td>神石牛 234円</td> <td>こんにゃく 57円</td> <td>キーホルダー 67円</td> <td>花たば 83円</td> </tr> </table>									マスク 54円	イヤリング 78円	ネクタイ 97円	ハンカチ 36円	えだまめ 53円	ジュース 72円							トマト 58円	ピオーネ 65円	神石牛 234円	こんにゃく 57円	キーホルダー 67円	花たば 83円
																										
マスク 54円	イヤリング 78円	ネクタイ 97円	ハンカチ 36円	えだまめ 53円	ジュース 72円																					
																										
トマト 58円	ピオーネ 65円	神石牛 234円	こんにゃく 57円	キーホルダー 67円	花たば 83円																					
一 (4)	たし算	<p>十の位に繰り上がりのある筆算も一の位の繰り上がりのある筆算と同じように考え解決する。</p> <p>65+78の筆算には2回繰り上がりがあることに気付き、既習を生かして解決する。</p> <p>3口のたし算を、3段の筆算にかいて1回で計算して解決する。</p>																								
	れんしゅう	練習																								
二 (4)	ひき算	<p>135-72の筆算を2桁のひき算と同じように考え解決する。</p> <p>142-83の筆算には、2回の繰り下がりがあることに気付き、既習を生かして解決する。</p> <p>103-67の筆算では、十の位から繰り下げられないことに気付き、記数法の仕組みをもとに百の位から繰り下げ解決する。</p>																								
	れんしゅう	練習																								
三 (2)	3けたの数のひっ算	234+57や281-53の筆算の仕方を、2桁のときと同じように考え筆算する。																								
	学びのまとめ	パフォーマンス課題に取り組み、学習内容の自己評価をする。																								


7 本時の学習

- (1) 本時の目標 (百何) - (2位数) で繰り下がりが2桁におよぶ筆算ができる。
- (2) 評価規準 (百何, 百) - (2位数) で繰り下がりが2桁におよぶひき算の筆算ができる。
- (3) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (☆支援)	評価規準および 判断基準 (方法)
つかむ	<p>1 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Aさんは、103円もっています。67円のキーホルダーを買おうと、何円のこりですか。</p> </div> <p>わ…103円もっている 67円のキーホルダーを買っても…何円のこるか た…円 ど…のこりなのでひき算 し…$103 - 67 =$ ひ… 103 - 67</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を提示し、今回の買い物ではキーホルダーを買うことを把握させることで、問題をつかませる。 ・リーダー表を見ながら、自分で「わもたど」を見つけさせ、立式までさせる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>前時との違い</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一の位の計算で、十の位が0だからくり下げられません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆算の形にかかせて、前時との違いに気付かせる。 	
	<p>どうすれば、十のくらいが0でくり下げられないひき算ができるだろうか。</p>		
さぐる	<p>3 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算棒と位取り板を使う ・計算ノートを使う ・図にかく <p>4 自力解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算棒 ・図 ・立式・筆算 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の中で、何が使えるか問い、グーチョキパーで見通しをもつ。 ・グーの場合は、どこが分からないか問い、ある程度見通しをもたせてから自力解決に向かわせる。 ・記数法の仕組みをもとに考えさせ、100の束を10の束10個にばらし、さらに10の束をばらせば、一の位がひけることに気付かせる。 <p>☆100の束の計算棒を10の束10個にばらして操作できるようにしておき、具体的に繰り下がりの仕方をとらえさせるようにする。</p>	

ねりあう	<p>5 集団解決をする。</p>  <p>・位をたてにそろえてかく。</p> <p>① 一の位はひけない。百の位から1くり下げて十の位を10にする。</p> <p>② 十の位から1くり下げて13</p> <p>③ $13 - 7 = 6$</p> <p>④ 十の位は $9 - 6 = 3$</p> <p>6 まとめをする。</p>	<p>・筆算の仕方と対応づけながら計算棒を操作させ、一の位の計算で百の位から1繰り下げ、続けて十の位から1繰り下げることをおさえる。</p> <p>・筆算の仕方を声に出して言わせることで、イメージ化を図る。</p> <p>☆説明の際には、「まず」「つぎに」「さいごに」と順に説明できるように、ヒントカードを用意しておく。</p> <p>・誤答が出た場合は、たしかめ算をさせて答えが合っているか確認させる。</p> <p>・時間に余裕があれば、「46」などの誤答を出し、なぜ違うのか理由を発表させる。</p>	
	<p>① 103 $- 67$</p> <p>② $\overset{9}{\cancel{10}}3$ $- 67$ $\underline{\quad 6}$</p> <p>③ $\overset{9}{\cancel{10}}3$ $- 67$ $\underline{\quad 36}$</p>		
まとめ	<p>十のくらいが0でくり下げられないときは、百のくらいから1くり下げて十のくらいを10にしてけいさんするとよい。</p> <p>7 練習問題をする。</p>	<p>・ライズeライブラリで練習問題をさせる。</p> <p>☆念頭計算が難しい場合は、支援教材の計算ノートを使用させる。</p>	
ふりかえり	<p>8 振り返りをする。</p>	<p>・振り返りの視点を用いて振り返りをさせる。</p>	<p>B : (百何, 百) - (2位数) で繰り下がりが2桁におよぶひき算の筆算ができる。【知・技】(発言・ノート)</p> <p>手立て: 具体物を操作して筆算の仕方と対応するようにさせる。</p>

8 板書計画

9/23	<p>たし算とひき算のひっ算 (2)</p> <p>① Aさんは、103円もっています。67円のふでばこを買ったと、何円のこりですか。</p> <p>② 103円もっている67円のキーホルダーを買う何円のこりか</p> <p>③ 円</p> <p>④ のこりなのでひき算</p> <p>⑤ $103 - 67 =$</p>	⑥	<p>⑦ どうすれば、十のくらいが0でくり下げられないひっ算ができるだろうか。</p>	⑧	<p>⑨ 十のくらいが0でくり下げられないときは、百のくらいから1くり下げて十のくらいを10にしてけいさんするとよい。</p>
	<p>⑩ 103 $- 67$</p>			⑪	<p>⑫ ラインズeライブラリ</p>
☆練り合いの場					
			<p>⑬ 103 $- 67$</p> <p>⑭ $\overset{9}{\cancel{10}}3$ $- 67$ $\underline{\quad 6}$</p> <p>⑮ $\overset{9}{\cancel{10}}3$ $- 67$ $\underline{\quad 36}$</p>	⑯	<p>⑰ 振り返りの視点</p>

